

令和4年3月3日

(あて先)熊本市長

団体名 NPO 法人プラスチックのある社会を考える+ing
代表者 職名 理事長 氏名 新田 時也



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

令和3年9月12日付け指令(地活)第27号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付決定を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第21条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業

「リレー方式美化ボランティア in 熊本市」開催

2 助成事業の実施期間

令和3年5月1日 ～ 令和4年2月28日

3 助成事業の内容

水前寺公園一帯を、「スタンプ・リレー方式」で美化活動を実施した。まず、水前寺参道をスタート。その後、各ポイントでスタッフから「スタンプ帳」にスタンプを押してもらう。そして、ポイントで待機している数名と合流。合間に、地元の住民から水前寺の魅力の説明を受けながら、最終の水前寺参道に、全員で戻った。

4 事業の成果

水前寺公園一帯で、ふたつのコース(《玄宅寺コース》と《水前寺児童公園コース》)を交互に、計5回ほど実施した。各回で参加者人数のばらつきはあったが、延べ50名程度の参加であり、遠方(南関、玉名、宇城方面)からの社会人の参加も見られた。水前寺周辺の美化活動とともに、水前寺の魅力も存分に伝えられたと思われる。

5 助成事業の実施状況

(1) 事業収支決算書(様式第16号)

(2) 事業の経過又は成果を証する書類等

(3) その他参考となる資料

事業収支決算書

◆収入決算

項 目	金 額	内 訳
会費		
当該事業による収益	3,000 円	30 名×@100 円 (参加費) *延べ 50 名程度の参加ではあったが、20 名程度は、ひとり親家庭の親子であったので、参加費は特例で免除した。
当該事業に対する寄附・協賛金		
その他の自己資金	89 円	
当該事業に対する助成金額	100,000 円	
その他の補助金、助成金等【D】		
合 計	103,089 円	

◆支出決算(事業別)

事業名 支出費目	事業 1	事業 2	事業 3	合計
	くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファン」助成事業 「リレー方式美化ボランティア in 熊本市」開催	(なし)	(なし)	
人件費	25,000 円			25,000 円
報償費				
旅費				
人件費等合計【A】	25,000 円			25,000 円
役務費	12,000 円			12,000 円
使用料・賃借料				
事務・消耗品費	66,089 円			66,089 円
委託費				
合計	103,089 円			103,089 円

助成申請上限額 (助成種別：スタートアップ助成)

〔事業費 103,089 円 - 控除額【E】 0 円〕×10割 = 103,089 円

※控除額…超過人件費（人件費等の合計が事業費の 1/2 を超えた部分）とその他助成金の合計

人件費等の合計【A】	25,000 円	➤	超過人件費【C】※	▲26,545 円
事業費の 1/2【B】	51,545 円		その他助成金【D】	
超過人件費【A-B】…【C】	▲26,545 円		控除額【E】	0 円

※マイナスの場合は 0 円

◆支出内訳(事業別)

事業1 〔くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業

「リレー方式美化ボランティア in 熊本市」開催

人件費	各回、5名。5回×5名（濱本、古賀、巖、新田、小松）×@1,000円。
報償費	（無償のボランティアを活用。）
旅費	
役務費	切手（日本郵便）、12,000円。
使用料・賃借料	
事務・消耗品費	グロスコート紙（13,013円）。中継地（ポイント）の看板（32,780円）、中継地を通過したことを証する「スタンプ」（18,800円）および「スタンプ台（大形）」（2個×@748円）。
委託費	

事業2〔 〕

人件費	
報償費	
旅費	
役務費	
使用料・賃借料	
事務・消耗品費	
委託費	

事業3〔 〕

人件費	
報償費	
旅費	
役務費	
使用料・賃借料	
事務・消耗品費	
委託費	

別紙(1)

事業報告書

実施年度	令和3年度
事業名	くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業 「リレー方式美化ボランティア in 熊本市」開催
事業期間	令和3年5月1日 ～ 令和4年2月28日
事業の目的	美化意識を市民協同で高めることが目的である。
具体的な 事業内容	開催日は、①令和3年10月17日(日)、②11月14日(日)、③12月19日(日)、 ④令和4年1月9日(日)、⑤2月6日(日)。開催時間帯は、各回、14:30 から15:30まで。スタートは九州記念病院壁画、ゴールは出水神社参道。美化活動への参加は、SNS 以外に、郵送でポスターやチラシを送付した。「図書館および大学」に対して、各回の開催日の一か月前の令和3年9月15日、10月15日、11月15日、12月15日、令和4年1月15日の5回に渡し、20通ずつ(計100通)。参加者はスタッフ以外に、延べ30名の社会人が加わった。
実施場所	実施コースは、《玄宅寺コース》(玄宅寺→後藤是山記念館→戸井の外公園)と 《水前寺児童公園コース》(水前寺児童公園→水前寺もやし栽培地→夏目漱石句碑)を各回、交互に巡った。
協力団体	グリーンアドバンス熊本(熊本市内の美化団体。代表:新田 時也。メンバー:20名)
事業の効果 ・公益性	「スタンプ・リレー方式」を採用することで、美化活動に対する「こころ」の連携ができたと思われる。遠方(南関、玉名、宇城方面)からも参加されており、熊本市外と熊本市民との交流が図られた。熊本市への愛着が生まれたと思われる。
次年度以降の 事業展望	今回の事業の成果を分析することで、今後、いわゆる、「ボランティア・ツーリズム」として、熊本市を代表するボランティア・イベントに育て上げたい。
事業への想い (当事業によってどのような熊本市にしていきたいか)	「きれいな熊本市」を目指したい。熊本市外の方と熊本市民との協同で美化活動を推進して、交流を活性化する「足がかり」を見出すことができたと考えている。美化活動と交流事業を合わせた、先進的なモデルに育て上げたい。美化活動が浸透すれば、おのずから、ゴミの「ポイ捨て」が解消されるものと信じている。